



Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luca ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O·N·O.inc

III River inc.



小野原悠がSuper-FJ 初優勝！

1期生の小野原悠（16）が、今シーズン参戦するSuper-FJ鈴鹿シリーズの開幕戦で初優勝を果たしました。

小野原は昨シーズンに引き続きSuper-FJ 鈴鹿シリーズに参戦することが決まり、その開幕戦が鈴鹿サーキットで行われました。2007年から始まったSuper-FJは今シーズンから新型車両クラス“FJ1500”との混走となり、2つのクラスが入り混じるレースとなります。

金曜日のフリー走行から好タイムを連発していた小野原は、開幕戦から優勝を狙えるチャンスは十分ありました。昨シーズンも速さはあったものの、決勝でのミスが響き結果に繋がれないレースが続いていました。今シーズンは決勝レースの改善が問われます。

土曜日の予選が始まりました。ここでのベストタイムが決勝レースのスタート順となるため非常に重要なセッションです。小野原は他とは違う戦略を取り、全車コースインしてから時間をずらしてコースへと入っていきました。ニュータイヤのウォームアップを入念に行い、タイヤが温まってきたところでタイムアタックを開始。しかしこのタイミングで赤旗が出てしまいセッションは中断。予選再開後に再びタイムアタックへと入っていきました。小野原はまずまずのタイムを記録し、Super-FJクラストップのタイムを記録しポールポジションを獲得しました。新型車両を含めた総合順位でも3番手となり、新型車両勢6台よりも速いタイムを記録し周囲を驚かせました。

日曜日の決勝レースが始まります。小野原は総合3番手グリッドからスタートします。レッドシグナルが消え決勝レースがスタートしました。小野原は抜群のスタートを決め、1コーナーで新型クラスの2番手に並びかけますが追い抜くまでには至らず。逆に2コーナーの立ち上がりで速度が落ちてしまい2台に交わされてしまいました。この際と同じクラスの選手にも交わされクラス2位にポジションを落としてしまいました。しかし小野原はその後トップの選手の背後に迫り、4周目の1コーナーで並びかけオーバーテイクに成功しトップを奪還しました。この直後に路面のオイル処理のため赤旗が提示されレースは一時中断となりました。

15分間の中断の後にレースが再開されました。1周のセーフティーカーラップの後、ローリングスタートでレースが再開。残り4周の超スプリントレースとなりました。小野原はトップをキープしたまま周回を重ねていきます。レースペースは非常に良く、前を行く新型クラス3番手の選手に迫る勢いでした。残り2周のところでの新型クラスの選手に追いつき、バトルが始まっていきます。抜きつ抜かれつの場面が何度か見られましたが、小野原もクラストップのため大きなリスクは取れません。最後は自らのポジションを優先しクラストップのままフィニッシュ。小野原は自身初の優勝を果たしました。

またジュニアドライブレ生として前日の三浦柚貴に続き、2人目の公式レース優勝者となりました。

